

7. 支出

在籍段階別の平均月支出額（第 7-1 表）を見ると、「専修学校（専門課程）」が 157,000 円で最も高い。次いで、「準備教育課程」が 154,000 円、「日本語教育機関」が 144,000 円、「短期大学」が 143,000 円、「専門職大学院課程」が 139,000 円、「学部正規課程」が 138,000 円、「大学院レベルの研究生」が 136,000 円、「大学院博士課程・博士後期課程」が 135,000 円、「大学院修士課程・博士前期課程」が 130,000 円、「学部レベルの研究生・聴講生」が 127,000 円と続いている。なお、支出の平均月額額は 140,000 円である。

第 7-1 表 在籍段階別の平均月支出額（全体と在籍段階別）（Q12・26 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	全体
平均月額（千円）	135	130	139	136	138	127	143	157	154	144	137	140
平成 23 年(千円)	137	126	141	122	140	128	124	151	—	137	—	138
平成 21 年(千円)	136	127	153	113	136	123	151	149	—	—	—	138

（注）平均月額は、Q24 及び Q26 で収入・支出の同額者（4,923 人）で、各項目の平均

大学国公私別の平均月支出額（第 7-2 表）を見ると、私立大学が 148,000 円で最も高く、公立大学が 114,000 円、国立大学が 111,000 円と続いている。

第 7-2 表 大学国公私別の平均月支出額（Q11・12・26 参照）

区分	大学			大学全体
	国立	公立	私立	
平均月額（千円）	111	114	148	136

（注）1. 短期大学を除く。

2. 平均月額は、Q24 及び Q26 で収入・支出の同額者（4,923 人）で、各項目の平均

居住地域別の平均月支出額（第 7-3 表）を見ると、関東地方が平均 154,000 円と全国で最も高く、四国地方が 110,000 円と最も低い。なお、東京のみでは、156,000 円となっている。

第 7-3 表 居住地域別の平均月支出額（単位：千円）（Q11・12・26・29 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
高等教育機関	122	113	155	126	139	123	110	122	157	140
日本語教育機関	111	151	150	126	138	135	0	123	153	144
全体	121	115	154	126	138	124	110	122	156	140

（注）平均月額は、Q24 及び Q26 で収入・支出の同額者で、各項目の平均（4,923 人）

第 7-4 表 居住地地域別の項目別支出内訳 (単位：千円)

(Q26・29 参照)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
学習研究費	39	34	53	42	48	44	30	41	53	48
通学費	2	2	5	4	4	2	2	3	5	4
食費	29	28	27	26	26	25	29	29	27	27
住居費	27	23	40	27	34	25	20	27	43	34
電気、ガス、水道料金	10	9	7	8	7	9	8	10	7	8
保険、医療費	2	3	2	3	3	2	3	2	2	3
趣味、娯楽費	6	4	6	5	5	4	3	6	6	5
その他の日常的な経費	5	7	7	6	7	7	8	5	7	7
残額	6	8	8	6	7	7	7	6	9	7

項目別平均月支出額の内訳(第 7-5 表)を見ると、「学習研究費」が 54,000 円と最も高く、以下「住居費」が 34,000 円、「食費」が 28,000 円、「その他の日常的な経費」が 11,000 円、「電気、ガス、水道料金」と「趣味・娯楽費」が 9,000 円と続いている。

第 7-5 表 項目別平均月支出額の内訳

(Q26 参照)

区分	学習研究費	通学費	食費	住居費	電気、ガス 水道料金	保険 医療費	趣味 娯楽費	その他の日常 的な経費	残額
人数(人)	4,375	2,748	4,753	4,893	4,275	3,811	2,905	2,920	2,300
率(%)	88.9	55.8	96.5	99.4	86.8	77.4	59.0	59.3	46.7
平均月額(千円)	54	7	28	34	9	3	9	11	16
平成 23 年率(%)	90.8	56.4	97.3	95.5	87.4	77.0	58.2	58.8	53.6
平成 23 年(千円)	54	7	25	34	8	3	8	11	13

(注) 1. 回答者数は、Q24 及び Q26 で収入・支出の同額者(4,923 人)

2. 率は、Q24 及び Q26 で収入・支出の同額者を 100 とした割合

3. 平均月額は、各項目の平均

学習研究費の内訳(第 7-6 表)を見ると、「授業料」の平均月額が 46,000 円、「教科書、実習材料、文具等の経費」が 8,000 円、「サークル活動の会費、合宿費」が 5,000 円となっている。

第 7-6 表 学習研究費の内訳

(Q11・12・26 参照)

区分	授業料*	(授業料内訳) 学校種別							教科書、実習 材料、文具等 の経費*	サークル活動 の会費、合宿 費*
		国立	公立	私立	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関		
人数(人)	4,104	874	106	2,065	29	663	35	603	2,428	441
率(%)	83.4	87.5	89.1	89.7	76.3	92.2	81.4	85.7	49.3	9.0
平均月額(千円)	46	46	36	59	60	59	59	51	8	5

(注) 1. * 印の率は、Q24 及び Q26 で収入・支出の同額者(4,923 人)を 100 とした割合

2. 学校種別の率は、第 1-3 表の各在籍学校別の回答者数のうち、Q24 及び Q26 で収入・支出の同額者を 100 とした割合

3. 平均月額は、各項目の平均

宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額（第 7-7 表）については、「その他」を除き、「民間アパート・マンション等」に居住する準備教育課程生が最も高く、163,000 円を支出していることがわかる。最も低いのは、国立大学に通い大学の学生寮に住んでいる学部レベルの学生で、86,000 円である。宿舎については、第 10 節で詳しくふれる。

※大学院レベルは、博士課程・博士後期課程、修士課程・博士前期課程、専門職大学院課程、大学院レベルの研究生を示し、学部レベルは、学部正規課程・研究生・聴講生、短期大学、専修学校（専門課程）を示す。

第 7-7 表 宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額 (Q11・12・26・30(1)参照)

区分	国立大学			公立大学			私立大学			
	大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体	大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体	大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体	
民間アパート・マンション等	人数(人)	377	185	562	30	38	68	400	1,387	1,787
	平均支出額(千円)	121	107	116	118	115	116	155	149	150
大学・学校の学生寮 (留学生用・一般学生用)	人数(人)	208	120	328	16	16	32	77	154	231
	平均支出額(千円)	107	86	99	98	96	97	145	128	134
その他	人数(人)	80	12	92	8	10	18	45	91	136
	平均支出額(千円)	120	100	118	157	113	132	149	151	151
不明	人数(人)	1	0	1	0	0	0	1	4	5
	平均支出額(千円)	0	0	0	0	0	0	160	126	132
合計	人数(人)	666	317	983	54	64	118	523	1,636	2,159
	平均支出額(千円)	116	99	111	118	110	114	153	147	148

区分	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育課程	日本語教育機関	その他	合計	
民間アパート・マンション等	人数(人)	30	609	20	515	118	3,709
	平均支出額(千円)	142	159	163	146	141	145
大学・学校の学生寮 (留学生用・一般学生用)	人数(人)	5	59	13	120	30	818
	平均支出額(千円)	129	137	127	145	123	120
その他	人数(人)	3	51	10	62	11	383
	平均支出額(千円)	176	151	172	130	135	139
不明	人数(人)	0	0	0	7	0	13
	平均支出額(千円)	0	0	0	131	0	132
合計	人数(人)	38	719	43	704	159	4,923
	平均支出額(千円)	143	157	154	144	137	140

(注) 1. 回答者数は、Q24 及び Q26 で収入・支出の同額者 (4,923 人)
2. 平均支出額は、各項目の平均